

佐渡を愛し、勤労観・職業観を育む教育の充実

1 昨年度の取組

(1) 目標

学期末に行う生徒アンケートで、「ふるさと佐渡（畑野）を誇りに思う」と肯定的に答える生徒を、全校の90%以上にする。

(2) 活動内容

- ① 「トキの野生復帰に向けた餌場づくりの取り組み」についての学習
- ② 職業講話・1・3年生職場訪問・2年生職業体験を実施（10月）

(3) 結果

学期末アンケートにおける肯定的評価の状況

実施月	7月	12月
1年生	96.3%	93.3%
2年生	76.7%	65.7%
3年生	92.3%	92.3%
平均	87.4%	83.0%

(4) 成果と課題

① 成果

ア どの生徒も、現地体験学習に課題を持って取り組んでいた。

イ 大勢の方が、トキの野生復帰を支援する活動を行っていることを知るとともに、佐渡の自然環境のすばらしさを再認識した生徒が多かった。

ウ 総合学習発表会では、1年生は大洋紙を、2・3年生はコンピュータを使って発表するなど、発表方法を工夫した。発表内容も分かりやすく、工夫を凝らしたものが多く、好評だった。

② 課題

職場体験を通して「佐渡のよさ」を感じられなかった2年生が多かった。

そこで、職場体験先の選択の幅を広げさせるために、佐渡の企業・事業所などの情報を生徒に伝える「職業講話」を早期に実施する必要がある。

2 今年度の取組

(1) 目標

学期末に行う生徒アンケートで、「ふるさと佐渡（畑野）を誇りに思う」と肯定的に答える生徒を、全校の90%以上にする。（前年度と同じ）

(2) 内容

- ① 世阿弥の通った道（小倉街道）の調査
- ② 職業講話と職場体験・職場訪問等の実施（2年生の職場体験は3日間）

(3) 手立て

- ① 「職業講話」を1学期中に実施し、職場体験・職場訪問の選択肢を広げさせる。
- ② 中部北陸自然歩道に指定されている「世阿弥の通った道」についての学習を通して、佐渡の歴史・文化・自然のすばらしさを認識させる。